文化の風 南から

枕崎の芸術・文化の各分野で活躍している方々のエッセイを毎月紹介します。

『私は山下清』

7月29日に開幕した「森一浩展」（南溟館・9/17まで）

枕崎で個展をやることになった。40数年間の足跡をたどってみたいという思いに駆られて。それが「今」なのかもしれない。

▼幼い頃から、なにかしら絵には関心事が多かった。両親の会話の中に時々、山下清、岡本太郎という名を耳にした。その山下清、私が小学校の頃、学校の講堂で「山下清物語」のドキュメント映画が上映された（当時はよく文部省推薦の映画を学校で見たものだ）。知的障害者である山下清が、暗闇の中を施設から抜け出し放浪の旅へ出て行く。線路伝いに歩く姿に、なぜだか憧れに似たものを感じていた。自由という旅への出発。今も鮮やかに記憶に残っている。

その彼が時の人となって、すでに新聞テレビで取り上げられていた。妙に愛嬌のある顔は、たちまち日本中に知れ渡ることになる。その彼が放浪の末に鹿児島に辿り着いた。多分もう彼の支援者もいたと思うが、確か山形屋だったかと思う。ちぎりえの展覧会が開催されていた。執拗なまでの細かな作業、心に思うままの観察力、一つ一つの小さな存在が生み出す強く大きな世界。どこか明るくほのぼのとしたその世界に心を奪われ、ふと気付いた瞬間に、なぜだか私も紙をちぎっていた。どうもこの作業は簡単な様で、私には向かない。仕方ないので、画用紙に赤、青、黄様々な色を施した後に黒色のクレヨンを画面いっぱいに塗りつぶし、そこを針か釘で引っかくと、下から思いもかけない色が覗いてくる。程遠い真似事だった。

山下清の世界は私にとって、自由という旅への出発。これが私にとって絵を描くことの第一歩だったのかも知れない。

▼4浪して芸大に入った。枕崎で自宅浪人を2年、この間の生活は結構有意義なものだった。ベニヤ板を張り合わせてのキャンバスに、灯油や天ぷら油を使っての、無知がゆえの絵。何か足らない中での模索が始まる。セザンヌから始まって、その当時流行ったアメリカンポップアートに傾倒していく。

この頃、南日本美術展だったかと思うが、自信作と思っていた作品を父の車で搬入。結果は2年連続して落選。親父の「ヤメンカ」のひと言に絵描きをやめろと言っていたのか、この展覧会に出品するのをやめろと言ったのか、私には自信があっただけに、しばらくこのことにはお互い触れないでいた。

悶々とする中、落選した恥ずかしさに身が竦む思いで、思い切って展覧会場に出向くことにした。それは鹿児島市立美術館と山形屋の2会場で開催されていた。会場に入った途端、あまりの絵の違いに愕然とした。母子像、裸婦像、風景と日常の生活を取り込んだテーマが並ぶ。それに暖色系のきれいな彩りの絵画群。それに比べて自分のはシュール（超現実）で妙に色が重たい。ここで落胆することもなく、何か吹っ切れたことを覚えている。「こんなのじゃない」

▼もう東京に行くしかなかった。3浪目で美術系の予備校に入って、また愕然とする。全国から兵（つわもの）ぞろいの連中に呑まれることになる。もう一端（はし）の芸術論をぶつものだから、田舎出のこっちとしては、もはや聞き手に回らなくてはならない。豊富な情報量と腕に自信のある猛者（もさ）の連中の中で、私は小さくならざるを得なかった。それも時間と共に様子が分かってくる。

1年が過ぎ、4浪目の時、母から「もう帰ってくるな」に少しは現実に戻る。それはそうだろう。周りは大学4年を卒業して社会に出て行くわけだから。母のひと言は結構身に沁みる。やっとの思いで芸大に入る。当時の倍率は50倍だった。両親も半分は理解できず、芸大を学芸大と混同している様だった。しばらく黙っていよう。

森一浩
もり・かずひろ

1949年、ブラジルサンパウロに生まれる。1955年、枕崎に帰郷。枕崎高校を卒業後、東京藝術大学に入学。1982年に同大学院博士課程を修了。日本とブラジル両国で芸術活動を行う。第1回風の芸術展大賞。

新刊紹介

●柔の恩人
小倉 孝保（著）

○ねこざかなのすいか
わたなべゆういち（作・絵）

注目本

●デトックス・ベジヌードル
～1週間で－2kg！超毒出し野菜めん～
／庄司 いずみ（著）

○いちにちおばけ
／ふくべあきひろ（作）、かわしまななえ（絵）

●一般書　○児童書

ホームページ（市からのお知らせ）に、すべての新着本の情報を掲載しています。ぜひご利用ください。
※図書館内掲示板（玄関前）、1階カウンターの新着本リストでもすべてご覧いただけます。

★ 親子手作り絵本教室 参加者募集

夏休みの思い出に親子で一緒に絵本作りをしてみませんか。

日時　8月26日（日）　午前9時30分～
会場　枕崎市立図書館3階会議室
定員　先着順10組程度（小学生以上）
申込み　電話（TEL72-9254）または来館にて
締切り　8月17日（金）

図書館へ行こう！

夏休みの宿題も図書館で。分からないことがあったとき、図書館には調べ学習に役立つ本がいっぱいあります。なが～い夏休みだからこそ「いつでも、だれでも、なんどでも」図書館を利用しましょう。

本は、夢の世界へ導いてくれたりします。親子で一緒に本選びをしてみませんか！

ご存知ですか!!

枕崎市立図書館でも鹿児島県立図書館の図書を借りることができます。お気軽にご利用ください。

図書館だより

No.244

市立図書館　72－9254
★開館時間 9：30～18：00

カレンダー　8月10日～9月8日

日	月	火	水	木	金	土
				8月	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
★26	27	28	29	30	31	9月 1
2	3	4	5	6	7	8

□休館日　★イベント
○おはなしのへや　午後3時～（絵本と紙芝居の読み聞かせ）

■枕崎弁「すんくじら狂句」の答え…しらす

クイズ！カツオぞりDR

■きばらん海には毎年多彩なゲストが登場しステージを盛り上げてくれていますが、次のうち、実際にきばらん海のステージに立ったことがあるのはどの歌手でしょうか？

①鳥羽一郎　②冠二郎
③北島三郎　④宮史郎

【先月の答え】②心臓

今月のプレゼント

モーツァルトを聴いて育った鰹節。

クラシック節（10名様）
【提供】株式会社金七商店

お便り紹介

愛知県在住の前期高齢者オジサンです。毎号、楽しみにしています。7月号の松之尾海岸の海水浴風景は大変懐かしい写真でした。私も、この写真のどこかに居るはずです…。春は貝堀り、夏は海水浴に魚釣り、砂浜では年中、野球をやったり、相撲を取ったり…。まさに自分チの庭みたいでした。海ガメも産卵に来ていました。あの時、大海原に旅立ったカメさん、久しぶりに舞い戻った場所はコンクリートに囲まれてしまいました。少年野球大会では、我が汐見町チームのホームグランドがカンバシタでしたが、本大会の市営球場は土のグランドで、打球が速すぎた…？で初戦敗退でしたね（愛知県・かつおビンタ・男性）

愛知県からお便りあいがともさげもす。残念ながら砂浜は無かごんなってしまいましたが、港ではカッターの練習をする元気な声が聴こえったり、地域対抗の少年野球大会も続いちょっですよ。子どん達っが外で遊んがなっ町であって欲っかなぁ。

●●●

「薩摩狂句」のつもりで…「広報紙は　まだかまだかち　ずんねやろ（夫）」（岩戸町・アメリカボケ・72・男性）

唱「読めない時間は　とぜんなかやろ」ちゅう事でお待たせしました。こん広報紙にゃ狂句のコーナーもあっでがい、そっちん側への投稿も待っちょっど。

●●●

27年前枕崎にお嫁にきて言葉も暮らしも何もわからず…さみしい思いもしたような気もするけど、今は住めば都で楽しくおだやかな日々を暮らさせてもらってます。海が近くにあり食べ物もおいしくて人も優しく…ありがとう枕崎（桜木町・サクラッち♥・52・女性）

こちらこそあいがともさげもす。枕崎出身者以外の方から愛さるっとが、ないよっけな嬉っかこっぢゃっど。

★**応募方法**　ハガキもしくはメールにて、氏名・ペンネーム・住所・電話番号・年齢・性別・クイズの答え・本紙へのご意見やご要望、枕崎への想いや身近にあった出来事などを記入の上応募ください。いただいたお便りは、ご紹介させていただく場合があります。文章は添削させていただく場合があります。

★**応募先**　〒898-8501　枕崎市千代田町 27 番地「枕崎市役所総務課秘書広報係」宛
E-mail：koho@city.makurazaki.lg.jp
★**応募締切**　8月31日（金）　※当日消印有効
★**当選発表**　当選者には総務課秘書広報係から連絡します。賞品を同係まで取りにきてください。
★**問合せ**　総務課秘書広報係 TEL72-1111（内線211）

枕崎弁『すんくじら狂句』

夕涼ん　バンコに座っ　蚊遣豚　（旺ちゃん）
（唱）シミッ一丁ん　よが団扇風（うちわかぜ）
「だらえ～、といやめもせじ、はつじだんなあ」「あ～ぁ、そこだい、ないもけんも、うってだまま戻ってだいさ」「あよ～あよあよ、ごぶれさあななぁ、そいでそん煮しめや、だがぶたんな、、、」ってな会話が聞こえてきそう。

寝いばなん　いっぱん良がとっ　飛来（く）っでらあ
（唱）そんた蚊ごわひか　おまいげんしごわひか

蚊に刺されっ　けーかけーかち　十字バッテン
（唱）丸にじゅの字で　気が治まっとぼな

高太郎が　待っ遠しかど　夏祭り
（唱）ながさあげだち　入道雲よ

わげんわがらん　絵（え）でん好っどい　観げ行っと
（唱）隣いの森さんも　連れっぢっきゃんせ

謎掛け
「通知」とかけて
なんととく
「ちりめん・ウナギ・火山灰」ととく、
そのこころは？
※右ページ左下に答え

■投稿は総務課秘書広報係 TEL72-1111（内線211）
■句の詳細はネット「すんくじら狂句会」↓
http://www.voiceblog.jp/kukai/

南溟館 イベント情報

開　9:00 ～ 17:00
※入館は 16:30 まで
休　毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問　TEL72-9998

森一浩展 ～ブラジルから石巻から枕崎へ

ブラジル生まれの枕崎出身で、国際的な画家として活躍している森一浩氏の作品展

●**会期**　9月17日（月）まで
●**会場**　南溟館
●**観覧料**　大人200円、大学生以下無料

【関連イベント】
森一浩氏とＲＥＮＳによるミュージック＆トークショー
●**日時**　8月26（日）午後2時～
●**会場**　南溟館

夏休み親子木工教室

●**日時**　8月19日（日）　午前9時～正午
●**会場**　南溟館屋外 ※小雨決行
●**対象**　園児、児童、生徒とその保護者（子ども会の引率者等でも可）
●**定員**　親子40名程度
●**講師**　県林材協会連合会・串木野愛林会職員
●**参加料**　700円（1組分・材料代）
●**準備するもの**　帽子、タオル等（工具、材料は主催者で準備）
●**創作するもの**　本棚など自由
●**申込み**　8月16日（木）まで南溟館（TEL72-9998）
●**主催**　枕崎市教育委員会・県林材協会連合会

池端ミチ子独唱会 ～白澤玲子さんと共に

元鹿児島短期大学教授でソプラノ歌手の「池端ミチ子」氏と白澤玲子さんによる独唱会。

●**日時**　9月9日（日）午後2時～
●**会場**　南溟館（第2展示場）
●**主催**　鹿児島のばら会
●**入場料**　大人2,000円（ただし75歳以上と障害者は無料）、高校生以下1,000円